

プロジェクトマネジメント講座

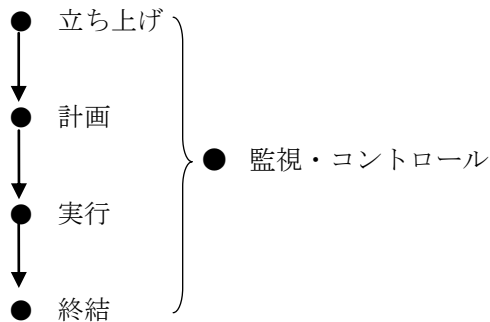
プロジェクトイメージ

架空のプロジェクトを創造しましょう。

そもそもプロジェクトとは……

⇒ プロジェクトとは、プロダクト・サービス・所産を創造するために実施される有期的な業務

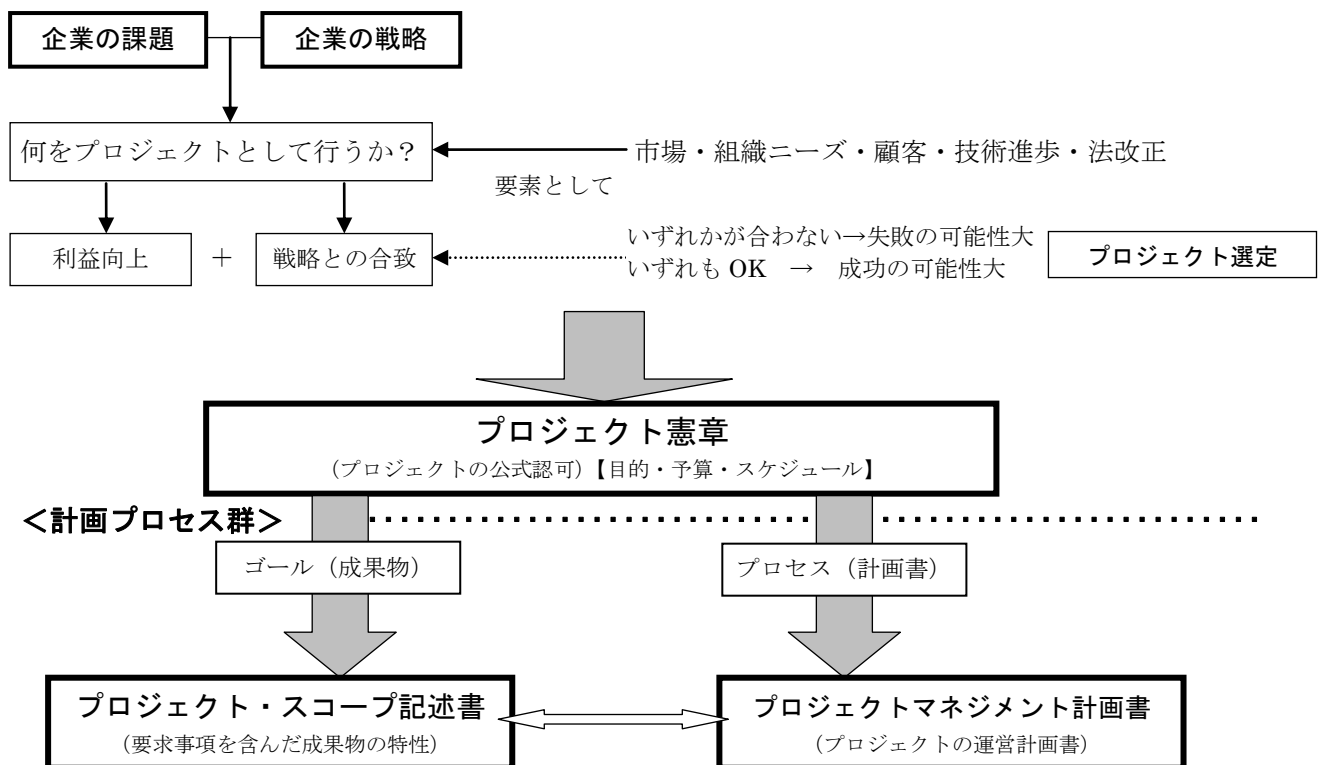
プロジェクトは以下の流れで、実行されます。



では、主要なプロセスを加え、以下の内容を完成させましょう。

<立ち上げプロセス群>

プロジェクトの骨子となる部分…プロジェクトを行う目標 ・プロジェクトを通して得られる目標・成果



上記の流れを確認すると、まずプロジェクト憲章は、プロジェクトの目標*などを記載したものです。つまり、プロジェクトに関する基本的な方向性が記載されています。またこのプロジェクト憲章に変更が必要になった場合は、「プロジェクト

自体の存続が疑問視される」ということです。つまりプロジェクト憲章の変更は、プロジェクトを継続する価値はないということを意味しています。またプロジェクト・スコープ記述書は、プロジェクトを通して生み出される成果物の特性・機能を記したものとなります。つまり、プロジェクトを実行するには、プロジェクトの骨子となるプロジェクト憲章とスコープ記述書はとても大切なものになります。

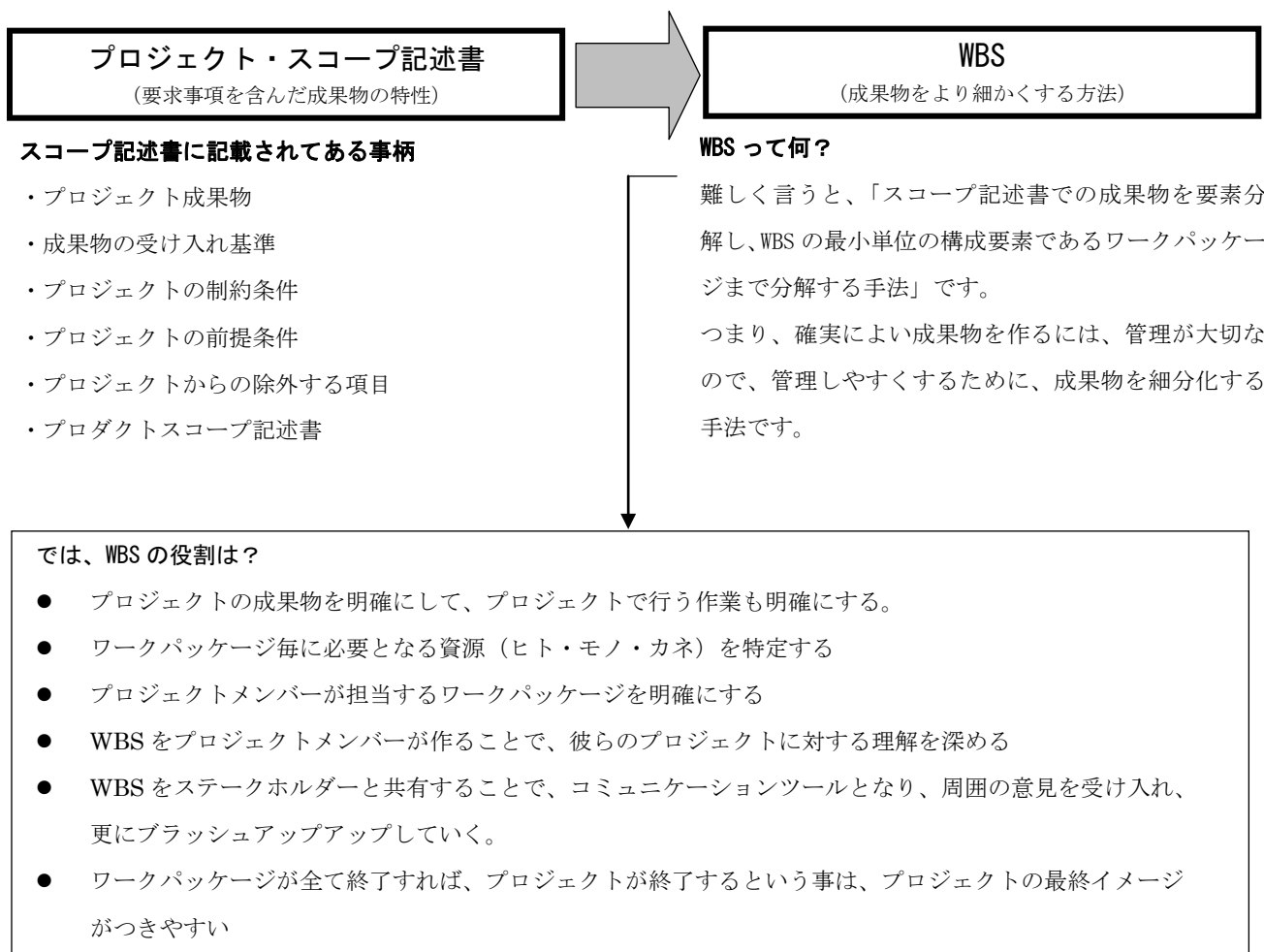
プロジェクトマネジメント計画書は、プロジェクトの運営計画書という位置づけです。たとえ、しっかりとした目標・成果であっても、運営計画が良いものでなければ、プロジェクトを成功することはできません。

つまり、プロジェクト憲章、プロジェクト・スコープ記述書、プロジェクトマネジメント計画書の3つは非常に大切な関係であり、重要な要素となります。

*SMART の原則

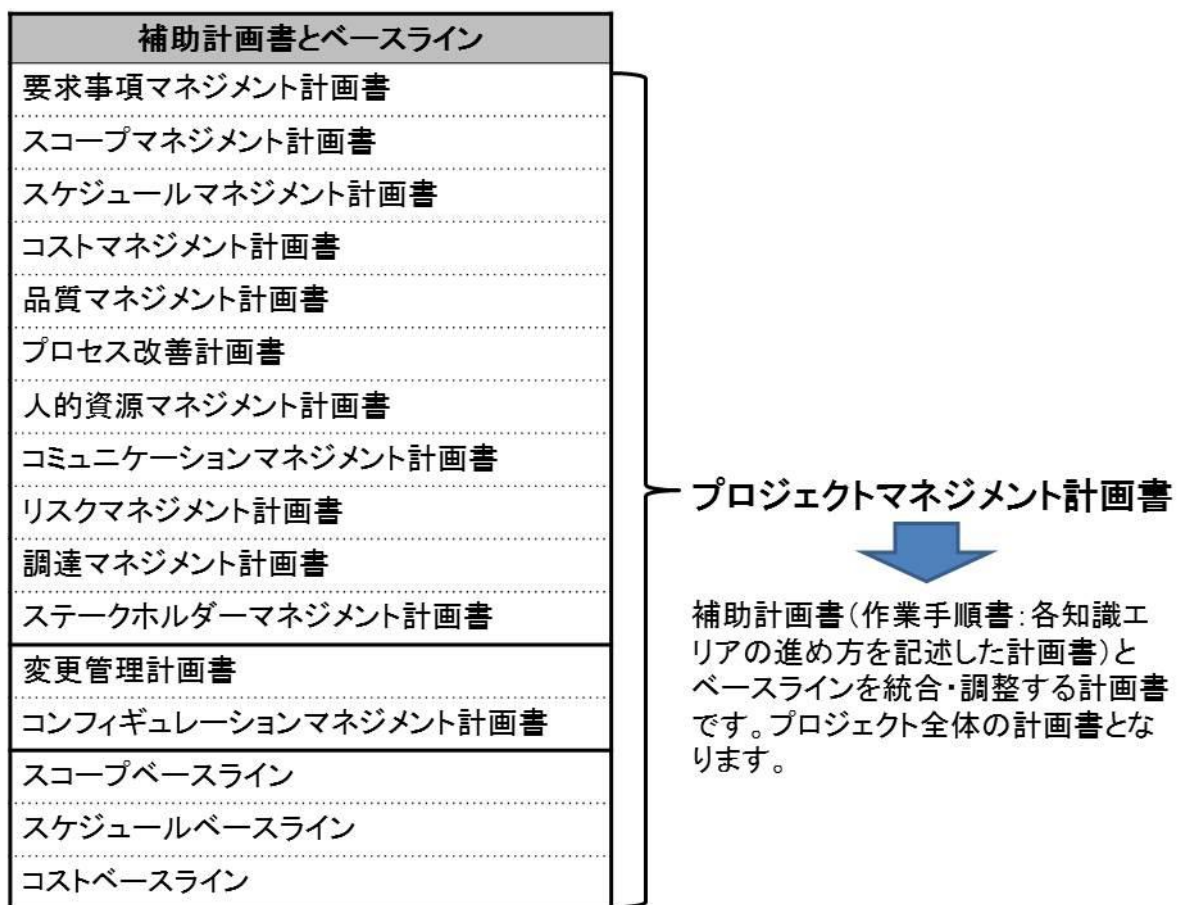
目標とは、具体的・測定可能・合意性・現実性・期限が守られているという基準を満たす必要があるという事で意味しています。

では、プロジェクト・スコープ記述書について、簡単に見ていきましょう。



では、プロジェクトマネジメント計画書について、簡単に見ていきましょう。

プロジェクトの計画は、簡単に立てることができません。その理由としては、あらゆる要素がプロジェクトには大きく影響するためです。



プロジェクトマネジメント計画書は、スコープ、タイム、コスト、品質、人的資源、コミュニケーション、リスク、調達、ステークホルダーの分野と深く関わり合があります。そのため、プロジェクト憲章から与えられたプロジェクトに対しての目的・目標だけでは、明確な計画を立てることはできません。

計画は反復されます。反復されながら、より精度の高いものができあがります。この事を段階的詳細化と言います。段階的詳細化で計画を明確にして、ベースラインが承認された後、プロジェクトは実行に進みます。

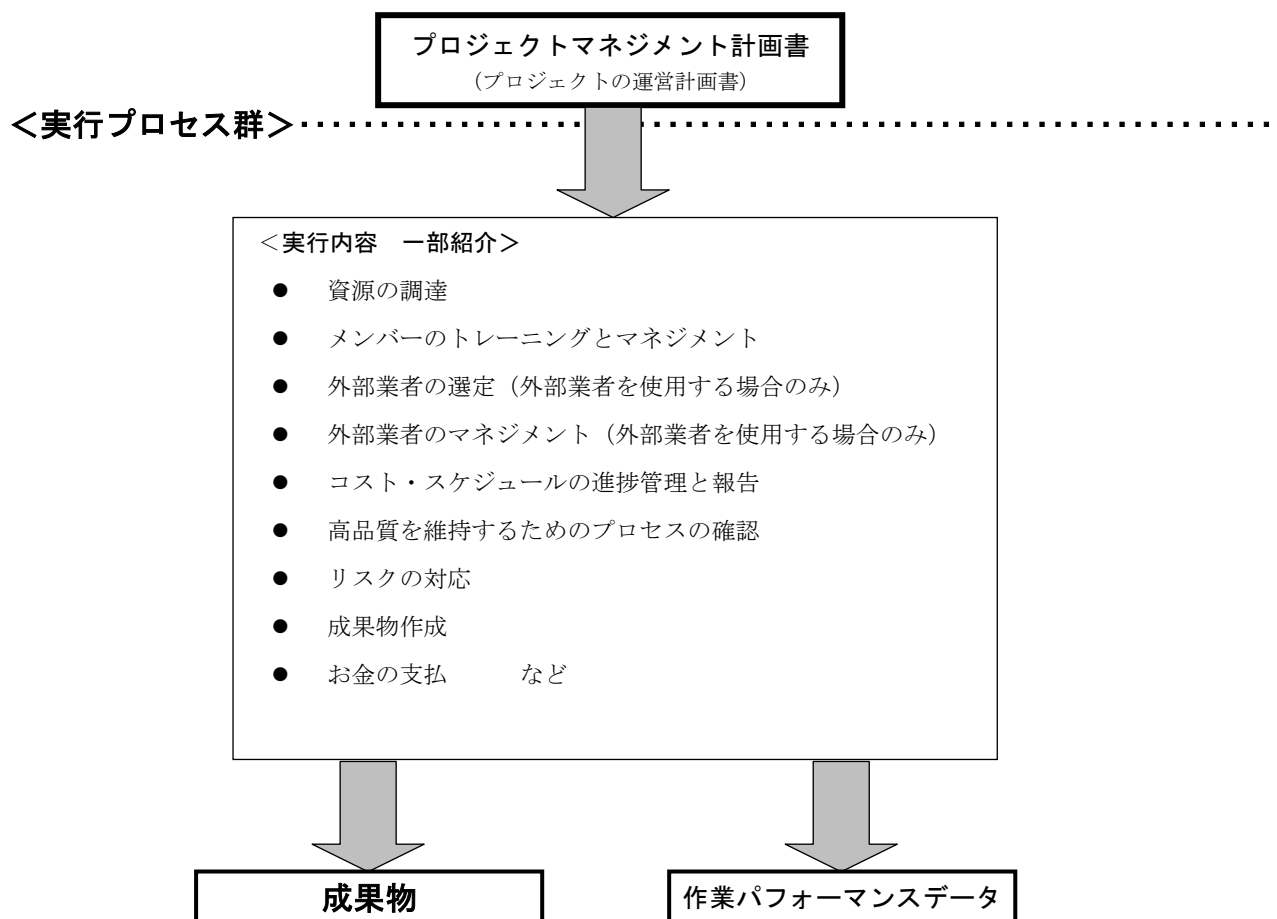
またプロジェクト文書というものがあります。これはプロジェクトマネジメント計画書どおりに作業を進めていく中で発生した重要な文書(結果)をまとめておくフォルダのことです。プロジェクトマネジメント計画書は補助計画書とベースラインで構成されていますが、プロジェクト文書は計画書に関連する重要な文書が含まれます。プロジェクト文書に含まれる内容は以下のもの等があります。

プロジェクト文書の記載内容は？

- アクティビティリスト・アクティビティコスト見積り
- 契約・プロポーザル・調達文書
- 品質管理測定結果
- リスク登録簿 など

では次は【実行プロセス群】について、見てみましょう。

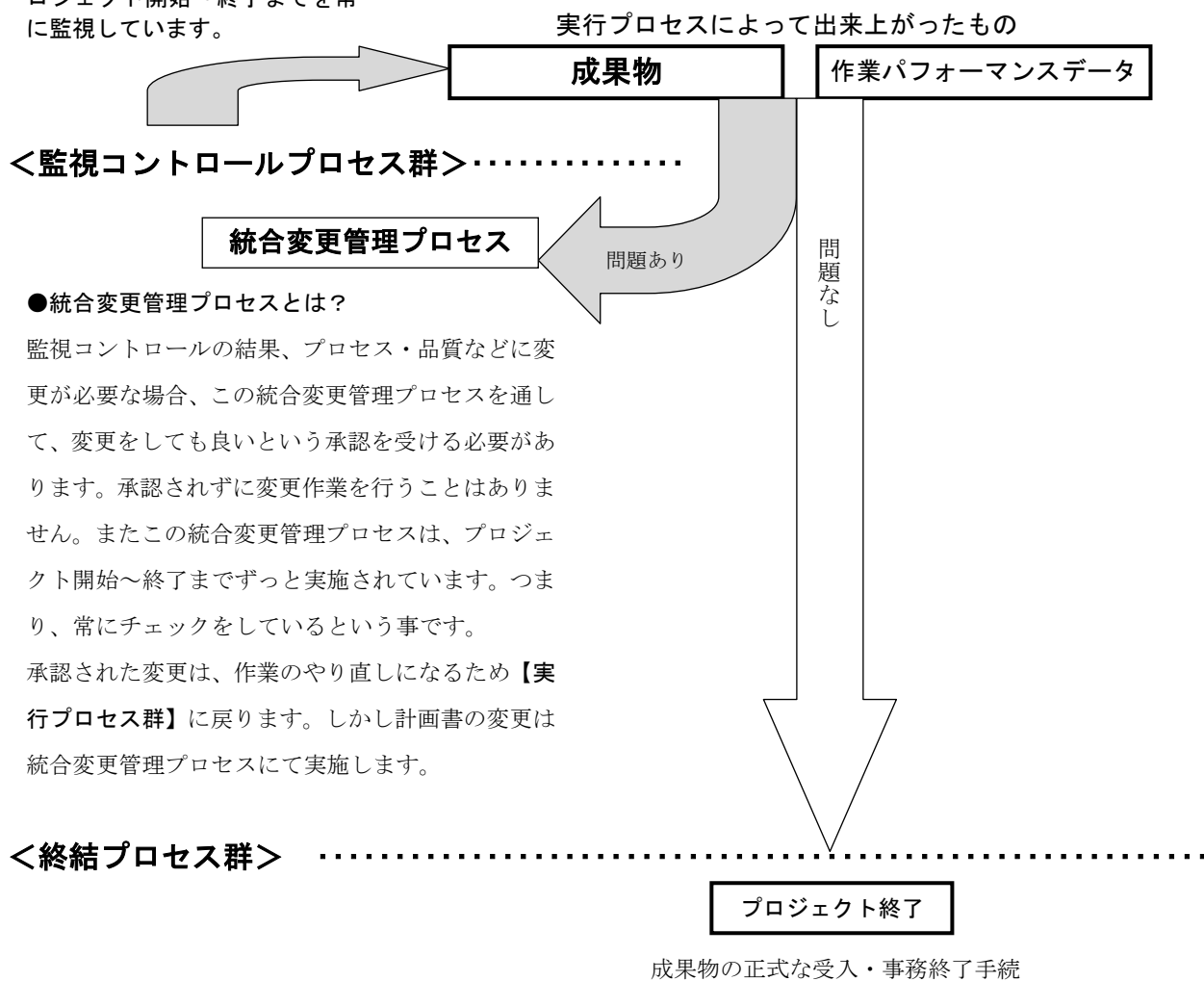
実行プロセス群は、プロジェクト・スコープ記述書の成果物を達成するために、プロジェクトマネジメント計画書をベースに行われます。プロジェクトマネジメント計画書ベースであるため、プロジェクトの規模にもよりますが、実行内容も多岐にわたります。詳細は以下のとおりです。また実行フェーズが一番コストがかかると言われています。



実行プロセス群の結果、出来上がったものが、成果物と作業パフォーマンスデータです。成果物は各工程での作られた成果物（中間成果物なども含みます）のことです。また作業パフォーマンスデータとは、しっかりプロジェクトマネジメント計画書通り、作業を進めていたかをまとめた文書（進捗結果）です。この2つに特に問題がなければ、プロジェクトは終結プロセス群に向かいます。

では次は【終結プロセス群】と【監視・コントロールプロセス群】を見ていきましょう。

監視コントロールプロセスはプロジェクト開始～終了までを常に監視しています。



【監視コントロールプロセス群】と【終結プロセス群】の大まかな流れは上記のとおりです。実行プロセス群で生み出された成果物と作業結果をまとめた作業パフォーマンスデータに問題が発生している場合は、統合変更管理プロセスで、変更の承認をもらい、実行プロセス群で、再度作業を進めることになります。

また【終結プロセス群】は、成果物の正式な受け入れ、事務終了手続きが終了した段階で完了となります。

以上が、プロジェクトの大まかな流れになります。みなさんが想像したプロセス、またかつて体験したプロセスに当てはめて考えてください。